

林木育種に関する国際会議等への参加

1. 2023年度に参加した国際学会の概要

林木育種センターや森林バイオ研究センターで研究された成果は、国内外の学会において発表されることを通じて、その知見の公表に努めています。

2020年からのコロナ禍で研究者同士の直接的な交流が控えられていましたが、我が国も含め段階的に検疫などが緩和されたため、今年度は当センターにおきましても、以下の4件の国際学会に研究者が参加し、その研究成果を発表しました。

- ・6月：オーストラリアで開催されたIUFRO（国際森林研究機関）主催のDiv5（天然林と人工林から得られる製品）分野の学会
- ・8月：韓国で開催された第15回国際植物バイオテクノロジー学会。この学会は、1963年に設立された国際植物バイオテクノロジー学会が主催する植物組織培養、分子生物学、およびバイオテクノロジーの研究に関する世界最大規模の学会です
- ・9月：オーストラリアで開催された植物の休眠に関する国際シンポジウム。
- ・2024年1月：米国カリフォルニア州サンディエゴ市「植物と動物のゲノムおよび農林水産関連分野におけるゲノム学会」が開催されました。これは、ゲノム（遺伝情報）に関連した世界最大規模の国際会議です。

2. センター研究者の活動内容

このような会議において、当センターの研究者は、スギ、ヒノキおよびカラマツに関する育種、材質、ゲノムに関する研究の成果について、発表を行いました。

このような場においては、各専門の研究の第一人者からの講演の傍聴の他、自分の研究発表に対して諸外国で活躍される研究者からの質疑応答を受けることができるため、次の研究への

助言やヒントを得る、同じ研究分野の研究者と世界的なネットワークの形成につながるなど大変意義深いものです。

当センターでは、国際学会に参加した研究者が、育種、遺伝資源、バイオテクノロジーに関する世界の潮流や各国の研究者の研究内容等を取りまとめて、年に一度「報告会」で発表し、センター職員に情報共有を行っています。

今年度の学会発表された研究者の中には、その国際学会より「優秀ポスター賞」を授与される者もあり、当センターの研究の質の高さを示すこととなりました。

3. 2024年度の予定

2024年度におきましては、5年に一度開催されるIUFRO世界大会が、スウェーデンのストックホルムで開催されます。ここにおきましては、当センターの研究者の他、センターとケニアで共同研究を行っているケニア森林研究所の研究者が、これまでの研究成果を発表する予定となっています。

地球温暖化対策の二酸化炭素吸収に大きく寄与する樹木の研究については多くの未知があります。今後もその解明を通じて、先進的な林木育種の研究機関として貢献する所存です。



(写真：優秀ポスター賞の発表風景)

(指導普及・海外協力部 海外協力課
山下 正輝)